

2013年6月30日 子ども療養支援協会研究会  
シンポジウムⅡ 子どもへのプレパレーション

# 小児病院における プレパレーションとディストラクション

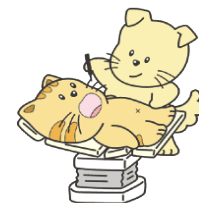
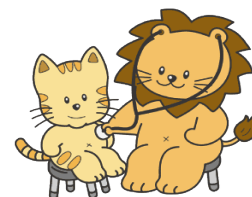
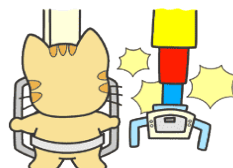
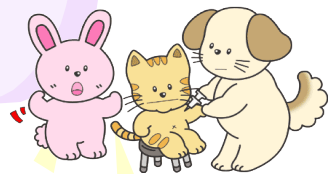
大阪府立母子保健総合医療センター  
ホスピタルプレイ士(子ども療養支援士、HPS)  
後藤真千子

# スタッフと家族の プレパレーション力向上



## プレパレーション小委員会

- 医師、看護師、コメディカルの協働
- 共通キャラクター「もこニャン」 商標登録
- ポスター「プレパレーションって何？」作成
- 病棟、外来に共通のプレパレーションブックを配置
- 外来での周術期のグループプレパレーションを考える
- HPでプレパレーション？ 学校訪問？



のなかをのぞくけんさ

がんでいけんさ  
(眼底検査)

モコニヤン



“エックスせんけんさ”っ



どんなことするの？



# 外来に プレパレーション ポスター

## あなたのお子さんは 知っていますか？

今日は

- 「どこ」へ行くの？
- 「だれ」と会うの？
- 「なに」をするの？
- 「なぜ」するの？
- 「なに」をがんばるの？
- 「いつ」終わるの？



## 知っていれば、ドキドキしない！

「やってみようかな？」と思えるように、  
お子さんの理解できる言葉で伝えましょう♪



子どもなりに頑張ったら、  
ほめてあげましょう♪

このような心の準備を「プレパレーション」といいます  
プレパレーション小委員会

ルーティーンとしてのプレパレーション・ディストラクション

# 周術期のプレパレーション 不安・恐怖の軽減

手術室ツアー



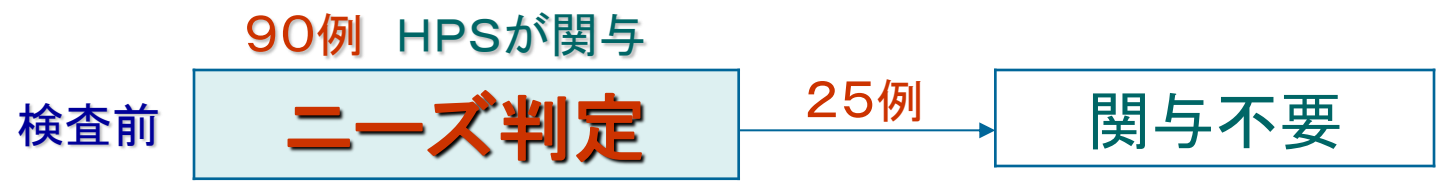
手術のためのプレパレーション



# 病棟・手術室の看護師とHP士のスケジュール

時間	担当	内容
13:30	看護師・病棟クレーク	入院患者受付
13:35	病棟クレーク	病棟オリエンテーション
13:45	HP士	グループ・プレパレーション
14:10	看護師	アナムネ
14:30	看護師	風呂・検査他
16:00	HP士・看護師	手術室ツアー





検査前

65例 ↓

**プレパレーション(心の準備)**

処置時

**ディストラクション**



待ち時間

**遊びの提供**



処置終了

61例 **泣かず**



4例 コミュニケーションがとれずパニック



# 実施時間とスタッフの確認

- 医師と検査開始時間を決める
- 当日、関与スタッフ(医師・看護師)との確認
  - ▲ 実施時間
  - ▲ プレパレーションで患児と決めた対処方法を共有
  - ▲ 段取りを決める



# 放射線治療を受ける

- 依頼
- 遊びを通して仲良しになる
- ツアー リニアック等と技師さんの紹介
- マスク作りのプレパレーション
- マスク作りに付きそう
- 照射に付きそう
  - 眠ってする？
  - マスクをつけてする？→DVDでディストラクション
- 放射線照射とご褒美シール
- 遊びによるストレス発散

依頼による個別の関わり

# 遊びを通して仲良くなる



# ツアー リニアック棟と技師さんの紹介

リニアック棟廊下



光の降り注ぐ空間



# 森の中の猫CT



# リニアック室入口







ひろ～い  
リニアック室



# マスク作りに付きそう



# DVDでディストラクション



# 依頼による特別な関わり Kちゃん幼児の例

**疾患名：再発性喉頭乳頭腫**

**背景：**

**医師からの依頼**

「全身麻酔による手術回数が多く、今後も手術が続くことが予想されるため（米国では平均20回）、入院・手術の不安・恐怖緩和のため関与をおねがいします」

**母の話**

術後は1週間ほど横になって寝ない。

「スーハー」「マスク」「手術」「眠る」などの言葉でパニックになる。



# 手術前の職員との関わり

## 遊びの紹介

はじめは、話しをせず母の後ろに隠れる。徐々に慣れ、30分後にはリラックス。次回のHP士との遊びを楽しみにする。シャボン玉が大好き。

## 手術室と病棟の看護師・医師・HP士とのカンファレンスで作戦を立てる

### <ポイント> 協力体制の確認

- ・HP士が自由にかかわり続ける方法の工夫
- ・危険や不都合の排除

### <具体的には>

言葉に注意：手術→検査、「スーハーはしない」と言い続ける、「眠る」という言葉は使わない。

HP士と一緒に行って検査をする。

手術着なし：前開きの普通のパジャマ。

麻酔導入：シャボン玉をしながら、サチュレーションモニターを1つだけ足につける  
見えないところでVルートへの長い点滴チューブから麻酔導入

# 手術前の子ともとの関わり

## 子どもへの説明

検査に行く。

HP士がついて行ってシャボン玉をしながら一緒にする。

## ルート確保

ディストラクションしながら、ルート確保し、点滴のラインを長くする。

# 手術室での関わり：

## 手術室で

- HP士が麻酔導入終了までと抜管時から一緒にいる。
- シャボン玉をしている間に麻酔導入

手術室の医師や看護師は協力的

患児ができるだけ不安や恐怖無く治療が進められることを望んでいる

### 問題点

手術室での清潔

特異なポジションでの麻酔導入の危険性

話し合いによりマニュアルを作った



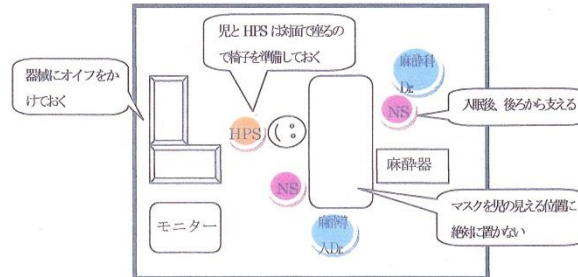
# Kちゃんの手術室入室について

耳鼻科:

## Kちゃんの手術室入室について

《流れ及び注意点》一患児の様子や状況など申し合わせ時と変更になる可能性もあります。  
手術決定時には、もう一度流れについてHPSと再確認してください。

- ①患児は、抑制されての睡眠導入に恐怖を感じているため、「マスク」・「寝る」・「眠くなる」など、睡眠導入につながると思像される言葉は使用しない。
- ②「手術」ではなく、「検査」で統一する。
- ③当日病棟にてルート確保し、前開きの寝衣を着用する。
- ④ストレッチャーでなく、看護師もしくはHPSが抱っこで入室する。しかし、前投薬内服しているため、安全に配慮する。ストレッチャーは患児と共に持ってきてもらう。
- ⑤入室時、看護師・医師は最小限（手洗い・外回り・患者係・主治医・麻酔科）とする。タイムアウトはリカバリーで実施する。他の部屋の看護師にも、入室時には可能な限りリカバリーや廊下に出ないように協力を仰ぐ。
- ⑥G室内では、患児にマスクが見えないように配慮する。看護師・HPS・医師などの配置は下図。
- ⑦入室後、抱っこされティストラクションされている児の足にサチュレーションモニターを装着する。
- ⑧ディストラクションによる滅菌物の汚染を避けるため、展開している滅菌物はオリーブ等でカバーする。
- ⑨HPSはディストラクションに集中しており患児の安全確保が困難な状況なので、導入時（薬剤投与時）は、HPSにもわかるように配慮する。
- ⑩導入後速やかに、ベッドで寝かせ寝衣を脱がしモニターなど装着する。



安全確保のために  
**毎回  
手直し**

# 手術後の関わり：

## あそびの関わり

- ・目覚めてから一緒に遊び、恐怖や不安がないことを確認。
- ・次回への準備のために一緒に楽しく遊んでおく。「また来たときにも遊ぼうね」と約束する。

## 多職種と今後に向けて話し合い

立ち位置、段取り等、問題点を改善・確認  
成長発達に合わせた継続的関わりができる

# プレパレーション(非薬物的疼痛緩和) の実践例

栄養チューブ挿入、同尿カテーテル留置・除去、浣腸  
ドレナージチューブ除去、各種画像検査  
採血、末梢静脈カテーテル留置、皮下注射、腰椎穿刺  
心カテーテル、胸腔・腹腔ドレナージ留置、腰椎穿刺  
骨髄穿刺、腎生検、肝生検、筋生検、心カテーテル、  
内視鏡、胸腔・腹腔ドレナージ留置、中心静脈カテーテル  
内視鏡、中心静脈カテーテル留置、腎生検、肝生検、  
骨髄穿刺など様々

# メディカルフレイ：経験を消化





# 処置室



# フレパレーションティストラクション のための HP士の特殊性

- ◆必要なときには、子どもといつも一緒にいることが可能であり、継続的な関わりができる
- ◆継続的な関わり、成長・発達にあわせた関わり
- ◆他職種の中にあって、子どもを中心に部署をまたいだ関わりができる。
- ◆不安な患児と多職種との架け橋になる。
- ◆子どもの立場に立ちきることができる

# まとめ

- プレパレーション・ディストラクションの成功の鍵は、遊びによる信頼関係の構築
- プレパレーション・ディストラクションでの当該職種の特長は、同じ人が、時間や場所を越えての継続的な関わり、長時間の関わりができることである。
- 多職種を相談協力しながら子どもにあったプレパレーションを行うことができる。

このような当該職種の特長を子ども達のために生かせるよう日々努力を続ける。